

論文謝辞等における研究費に係る体系的番号の記載について

令和2年1月14日
競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ

1. 趣旨

第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定)等の政府方針に基づき、客観的根拠(エビデンス)に基づく政策の企画立案(EBPM)、評価、政策への反映等に向けた取組が進められている中、政府の予算で実施される事業から生み出される成果の可視化・分析は重要な課題の一つとなっている。

研究開発関連の事業から生み出される成果の一つである論文には、研究に寄与した研究資源が謝辞情報として記載されることが多く、この謝辞情報は、事業から生み出された成果の可視化・分析を行う際の有力な手段となり得る。また、論文投稿時に事業情報や課題番号の入力を求められることも多くなっている。現状では、一部事業については、独自に課題番号を付与し、課題管理等に活用されている。一方、その他の事業については、論文等の成果への記載について注意喚起が十分でないこと、論文等の成果物における事業名の表記揺れが多いことなどから、成果の可視化・分析を行う上で、信頼性の低下や成果の過小評価が懸念されている。

以上を踏まえ、各事業と論文を適切に紐づけて研究成果・研究動向等との関係を明らかにし、エビデンスベースの各事業/各機関の評価や政策立案等の参考の一つとして活用するため、研究費ごとに体系的番号を付与するとともに、論文の謝辞や論文投稿時において体系的番号を記載するよう周知徹底を図る。

2. 対象制度

競争的研究費の各制度(事業)とし、2020年度以降実施予定で、番号付与等の準備のできたものから順次開始する。なお、2019年度以前から実施されている事業においても、番号を付与することを可能とする。

3. 体系的番号の付与方法

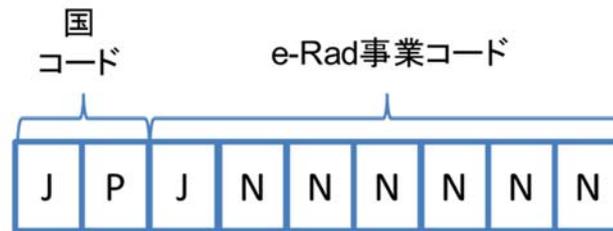
(1) e-Radに登録されている事業コード(以下、e-Rad事業コードという。)を利用して新しく体系的番号を付与する場合

(i) 9桁の数字・アルファベット(大文字)により個別事業を一意的に特定することとする。その際、上桁より以下の情報を割り当てる。

① 国名(日本=JP)の特定[変更不可]: 2桁

② e-Rad事業コード[変更不可]: 7桁(「J」+6桁の数字)

体系的番号(9桁)のイメージ



(2) e-Rad 事業コードを利用せず、独自の番号等を利用して新しく体系的番号を付与する場合

(i) 9桁の数字・アルファベット（大文字）により個別事業を一意的に特定することとする。その際、上桁より以下の情報を割り当てる。

- ① 国名（日本＝JP）の特定[変更不可]：2桁
- ② 事業の実施機関の特定（担当府省又は法人を想定）[変更不可]：2桁（府省別の機関コード）

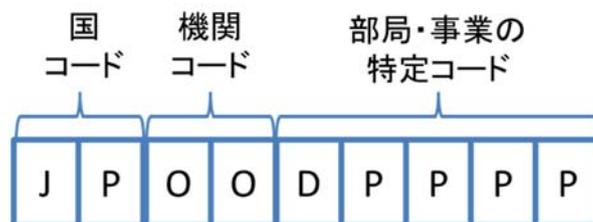
内閣府＝CA、総務省＝MI、文部科学省＝MX、厚生労働省＝MH、
農林水産省＝MA、経済産業省＝MT、国土交通省＝ML、
環境省＝ME、防衛省＝MD

- ③ 担当部局・事業の特定[5桁を維持して関係府省で付与]：5桁

(ii) 上記の②については、事業の担当府省・配分機関毎に、一意的に（重なりが無いように）特定する。

(iii) 上記の③については、事業の担当部署・配分機関毎に、一意的に（重なりが無いように）付与・管理を行う。既に各事業で管理されている番号等があればその番号を利用しても構わない。

体系的番号(9桁)のイメージ



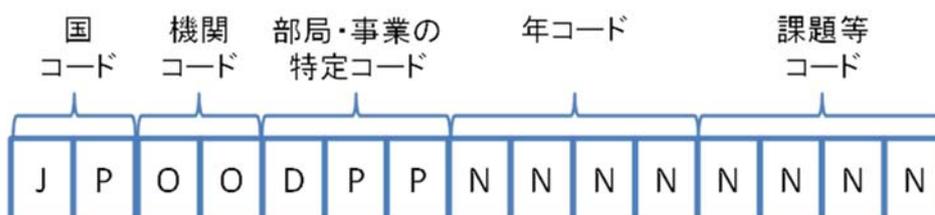
なお、部局・事業の特定だけではなく、個別課題を特定できるようにしたければ、例えば、15桁の数字・アルファベット（大文字）により個別事業を一意的に特定することも可能。年（4桁）や個別課題（4桁）を用いることを推奨するが、必要に応じて変更しても構わない。

- ① 国名（日本＝JP）の特定[変更不可]：2桁
- ② 事業の実施機関の特定（担当府省又は法人を想定）[変更不可]：2桁

府省別の機関コードは、上記（i）の②のとおり。

- ③ 担当部局・事業の特定[3桁を維持して関係府省で付与]：3桁
- ④ 年の特定[推奨]：4桁（事業の開始年度、西暦）
- ⑤ 個別課題の特定[推奨]：4桁

体系的番号(15桁)のイメージ



(3) 既に番号を導入済の事業は、現行の付与方法とする。

4. 体系的番号の導入および運用

- (1) 関係府省において、上記3.の方法に従い、各事業への番号の付与を行う。
- (2) 3.(1)の場合、関係府省は、e-Rad 事業コードと事業名の対応について、文部科学省科学技術・学術政策研究所（以下、NISTEP という。）に連絡する。
- (3) 3.(2)の場合、関係府省は、部局・事業の特定コードと事業名の対応について、NISTEP に連絡する。個別課題を特定するための課題等コードと課題名の対応については連絡不要。
- (4) 関係府省は、事業等の公募要領、事業主体のホームページ等を利用し、体系的番号に関する周知を行う。また、研究実施者に対し、公募採択時等に体系的番号を知らせるとともに、論文の謝辞や論文投稿時において体系的番号を記載するよう周知を図る。（記載例は別紙1を参照。）
- (5) NISTEP は、体系的番号のリスト（別紙2の例を参照。）をNISTEPのホームページにて公開する。
- (6) 以下の場合、関係府省から随時NISTEPに連絡を行う。
 - ① 新たな機関コードを付与する場合
 - ② 体系的番号のリストに掲載されている事業が誤っている場合（名称の間違い等）
 - ③ 新たな事業を開始する等、体系的番号のリストには掲載されていない事業に新たに体系的番号の付与を行う場合
 - ④ 体系的番号のリストに掲載されている事業より細かいレベルでの体系的番号の付与を行う場合

5. フォローアップ

内閣府は、NISTEP と連携して各府省の対応状況を把握し、未対応の事業については連絡会にてフォローアップしていく。

6. その他

体系的番号の連絡及び問い合わせ等については、科学技術・学術政策研究所 (NISTEP) 企画課 (kikaku@nistep.go.jp) において対応する。

以上

公募要領等の記載例

- ・ □□事業により得た研究成果を発表する場合は、□□事業により助成を受けたことを表示してください。
- ・ Acknowledgment(謝辞)に、□□事業により助成を受けた旨を記載する場合には「MEXT XXXX Program Grant Number 9 桁の体系的番号」を含めてください。論文投稿時も同様です。
- ・ □□事業の 9 桁の体系的番号は、JPJXXXXXX です。

論文中の謝辞 (Acknowledgment) の記載例

- (1) 論文に関する事業が一つの場合 (体系的番号「JPJ123456」)

【英文】

This work was supported by MEXT XXXX Program Grant Number JPJ123456.

【和文】

本研究は文部科学省□□事業 JPJ123456 の助成を受けたものです。

- (2) 論文に関する事業が複数 (二つ) の場合 (体系的番号「JPJ123456」
「JPJ234567」)

【英文】

This work was supported by MEXT XXXX Program Grant Number JPJ123456 and MEXT YYYY Program Grant Number JPJ234567.

【和文】

本研究は文部科学省□□事業 JPJ123456, 文部科学省■■■事業 JPJ234567 の助成を受けたものです。

(別紙2)

体系的番号の例 (2019年8月現在の導入状況)

	国コード	機関コード	部局・事業コード				年(西暦)コード	課題等コード	備考欄
文科省関連の競争的資金									
科学研究費助成事業	J	P	科研費番号(8桁)					導入済み(10桁)	
未来社会創造事業	J	P	M	J	M	I	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
戦略的創造研究推進事業									
新技術シーズ創出:CREST	J	P	M	J	C	R	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
新技術シーズ創出:さきがけ	J	P	M	J	P	R	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
新技術シーズ創出:ACT-X	J	P	M	J	A	X	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
新技術シーズ創出:ERATO	J	P	M	J	E	R	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
新技術シーズ創出:ACCEL	J	P	M	J	A	C	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
革新的先端研究開発支援事業:AMED-CREST	J	P	課題番号(11桁)					導入済み(13桁)	
革新的先端研究開発支援事業:PRIME	J	P	課題番号(11桁)					導入済み(13桁)	
革新的先端研究開発支援事業:LEAP	J	P	課題番号(11桁)					導入済み(13桁)	
ALCA(先端的低炭素化技術開発)	J	P	M	J	A	L	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
社会技術研究開発	J	P	M	J	R	X	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
研究成果展開事業									
研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	J	P	M	J	メニューで異なる		課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
産学共創基礎基盤研究プログラム	J	P	M	J	S	K	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
戦略的イノベーション創出推進プログラム	J	P	M	J	S	V	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
大学発新産業創出プログラム(START) ※SCORE含む	J	P	M	J	S	T	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム	J	P	M	J	C	E	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム	J	P	M	J	R	C	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム	J	P	M	J	O	P	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
先端計測分析技術・機器開発プログラム	J	P	M	J	S	N	課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	

医療分野研究成果展開事業											
研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
戦略的イノベーション創出推進プログラム	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
先端計測分析技術・先端機器開発タイプ	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
産学連携医療イノベーション創出プログラム	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
国際科学技術共同研究推進事業											
地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)	J	P	M	J	S	A			課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)	J	P	M	J	S	C			課題番号(4桁)	導入済み(10桁)	
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業のうち、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業のうち、戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業のうち、アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
国家課題対応型研究開発推進事業											
社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(再生医療実現拠点ネットワークプログラム)	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
社会のニーズを踏まえたライフサイエンス(脳科学研究戦略推進プログラム・脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト)	J	P								課題番号(11桁)	導入済み(13桁)
内閣府関連の競争的資金											
食品健康影響評価技術研究	J	P	C	A	F	S	C	西暦(4桁)	課題番号(4桁)	導入方向	
厚生労働省関連の競争的資金											
厚生労働科学研究費補助金	J	P	M	H						課題番号(8桁)	導入方向